

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 企業物価指数(2013年12月)

発表日2014年1月16日(木)

～上がっているのはエネルギー価格だけではない～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 エコノミスト 星野 卓也
TEL : 03-5221-4526

(単位: %)

		国内企業物価				国内企業物価 (連鎖指数)		輸出物価 (円ベース)		輸入物価 (円ベース)	
		最終消費財 (国内品)				前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比
		前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比
2012	7月	▲ 0.7	▲ 2.3	▲ 0.5	▲ 2.4	▲ 0.7	▲ 2.4	▲ 1.1	▲ 4.4	▲ 3.0	▲ 6.1
	8月	0.2	▲ 2.0	0.1	▲ 2.1	0.2	▲ 2.2	0.1	▲ 2.6	0.1	▲ 4.2
	9月	0.3	▲ 1.5	0.4	▲ 1.3	0.2	▲ 1.7	0.0	▲ 2.1	1.5	▲ 0.9
	10月	▲ 0.2	▲ 1.1	0.0	▲ 0.9	▲ 0.2	▲ 1.4	0.7	▲ 0.4	0.0	▲ 0.4
	11月	▲ 0.1	▲ 1.1	▲ 0.1	▲ 1.0	▲ 0.1	▲ 1.4	1.2	1.2	1.2	1.0
	12月	0.4	▲ 0.7	0.3	▲ 0.5	0.4	▲ 0.9	2.2	3.7	2.8	3.1
2013	1月	0.2	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 0.5	0.2	▲ 0.6	4.5	8.9	5.4	10.7
	2月	0.5	▲ 0.1	0.4	▲ 0.5	0.4	▲ 0.4	3.4	10.5	4.2	13.0
	3月	0.1	▲ 0.5	0.0	▲ 1.2	0.2	▲ 0.7	0.7	7.5	1.5	8.1
	4月	0.4	0.1	0.0	▲ 0.6	0.2	▲ 0.2	0.8	8.9	1.5	9.5
	5月	0.1	0.6	▲ 0.3	▲ 0.4	0.1	0.3	1.5	13.3	1.2	14.1
	6月	0.0	1.2	0.1	0.2	0.0	0.9	▲ 2.7	11.7	▲ 3.3	13.6
	7月	0.3	2.2	0.1	0.8	0.3	1.9	1.2	14.3	1.4	18.7
	8月	0.3	2.3	0.3	1.0	0.2	1.9	▲ 1.3	12.6	▲ 1.3	17.1
	9月	0.2	2.2	0.0	0.6	0.2	1.9	1.0	13.8	2.1	17.8
	10月	0.1	2.5	0.0	0.6	0.1	2.2	▲ 0.5	12.4	▲ 1.0	16.6
	11月	0.0	2.6	▲ 0.2	0.5	▲ 0.1	2.2	1.2	12.5	1.6	17.1
	12月	0.3	2.5	0.3	0.5	0.3	2.1	2.1	12.4	3.3	17.6

(出所) 日本銀行「企業物価指数」

(注) 国内企業物価及び国内企業物価(連鎖指数)は夏季電力料金調整後の値。

○ 2%台半ばの高い伸びが継続

2013年12月の国内企業物価指数は前年比+2.5%となった(コンセンサス: 同+2.6%、レンジ: 同+2.4%~+2.8%)。昨年後半以降前年比+2%を超える高い伸びが継続しており、企業物価の上昇傾向は鮮明である。

類別にみると、円安に伴うエネルギー価格の上昇によって、「石油・石炭製品」(前年比寄与度: +0.81%pt)や「電気・ガス・水道」(同: +0.64%pt)が上昇していることによる押し上げ幅が大きい。ただ、需給の改善に伴って「機械類¹⁾」(同: ▲0.35%pt)の低下幅が縮小傾向にあること、自動車生産の持ち直しや公共事業・住宅建設の増加などを背景に「鉄鋼」(同: +0.28%pt)が伸び幅を高めていることも押し上げ要因になっている。足もとの企業物価の上昇は、円安によるコストプッシュのみでなく、需給環境の改善に支えられている面もある。この点はポジティブに評価すべきだ。

なお、12月の円安進展などを背景に、前月比では+0.3%の上昇となった。原油価格の上昇に伴い、ガソリンなどの「石油・石炭製品」(前月比寄与度: 同+0.14%pt)が上昇したほか、豚肉などの「農林水産物」(同+0.05%pt)の上昇寄与が大きかった。

¹⁾ はん用機器、業務用機器、電子部品・デバイス、電気機器、情報通信機器、輸送用機器の合計。

